

地元の敬老会で 運営をお手伝い

岐阜・藍川東中

岐阜市の藍川東中学校の生徒たちが十六日、地元のお年寄り約二百七十人が出席した敬老会の運営ボラン



タオルと赤飯を詰めた紙袋を運ぶ生徒たち
岐阜市の芥見東小で

ティアを体験した。

早朝に会場の芥見東小学校体育館に集合。事前の準備として、敬老会の出席者に手渡すタオルと赤飯を、紙袋に次々と詰めた。来場が始まると、高齢者の誘導や受け付けなどをした。

ボランティアは、子どもたちに地域の行事に携わってもらい自信につなげてもらおうと、敬老会を主催する芥見東自治会連合会が学校側に依頼して実現した。昨年に続き二回目で、今回は十一人が参加した。

三年生の森藤奏音さん(四)は「袋詰めは数が多く大変だったが、貴重な体験ができた」と話していた。

(高橋貴仁)